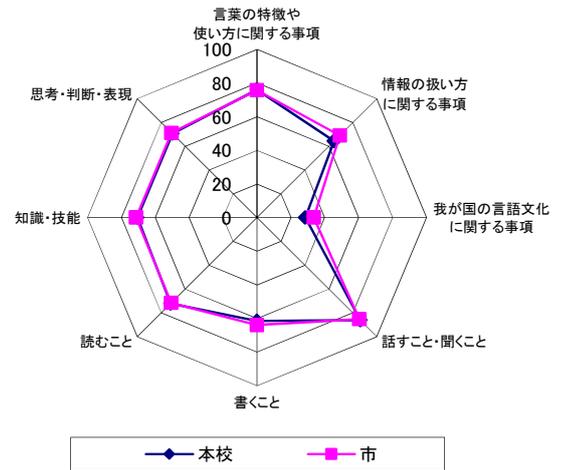


宇都宮市立細谷小学校 第6学年【国語】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	言葉の特徴や使いに関する事項	76.0	75.8	77.5
	情報の扱い方に関する事項	64.3	69.1	67.0
	我が国の言語文化に関する事項	28.6	33.5	37.2
	話すこと・聞くこと	86.2	85.5	86.5
	書くこと	61.4	63.9	65.8
	読むこと	72.1	71.6	69.5
観点別	知識・技能	70.6	71.3	72.9
	思考・判断・表現	70.7	71.3	71.4

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

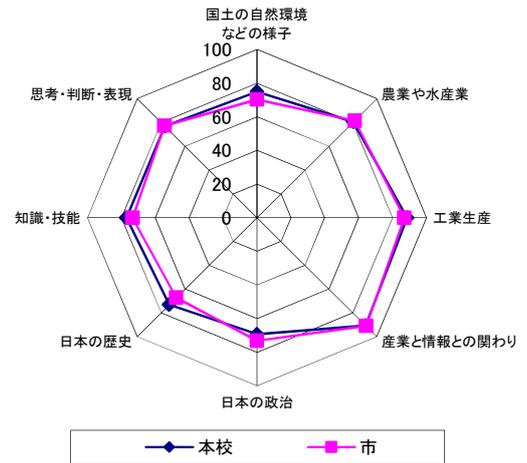
領域	本年度の状況	今後の指導の重点
言葉の特徴や使い方に関する事項	平均正答率は76.0%で、市よりも0.2ポイント高かった。 ○漢字の読み書きに関する設問では、市の平均正答率を上回っているものが多く、漢字の学習は身に付いていると考えられる。 ●敬語について正しく使えているかについては課題が見られる。	・漢字を日常から使う意識をもたせることで、さらなる定着を図る。 ・語彙力を高めるための読書活動を引き続き推進していく。 ・敬語について生活の中で適切に使えるよう指導を続けたり、朝の学習や宿題を通して漢字以外の言語に関する問題に取り組みさせたりしていく。
情報の扱い方に関する事項	平均正答率は64.3%で、市を4.8ポイント下回った。 ●原因と結果など情報と情報との関係についての理解に課題が見られる。	・説明文を読み取る中で、いくつかの情報のの中から必要なものを選び、組み合わせて整理する活動を指導していく。また、読み取りの基礎となる音読や意味調べなどの学習を重点的に指導していく。
我が国の言語文化に関する事項	平均正答率は28.6%と市を4.9ポイント下回った。 ●語句の由来に関心をもち、和語、漢語、外来語についての理解に課題が見られる。	・漢字の学習では、音読み、訓読みを意識的に押さえるようにし、漢字や熟語の意味を理解しながら練習するような学習方法を取り入れていく。 ・言葉の語源や、どのようにして伝わってきたかなどについて調べる活動を取り入れ、語句に対する関心を高めるとともに、理解が深まるようにしていく。
話すこと・聞くこと	平均正答率は86.2%で、市を0.7ポイント上回った。 ○インタビューの内容を聞き取る基礎的な設問については平均正答率が90%を超えていて、よく理解できている。 ●自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉えられているかを記述で解答する設問に課題が見られる。	・話し合い活動において、自分の考えと友達の考えを比較しながら聞くことができるように指導していく。 ・朝の1分間スピーチや係活動を有効的に活用し、自分の意見を明確にもたせ、その内容を分かりやすく伝えたり、文章に表現したりできるような活動に慣れさせていく。
書くこと	平均正答率は61.4%で、市を2.5ポイント下回った。 ○目的に応じて文章を簡単に書いたり、自分の意見とその理由を明確にして書く設問では、よく記述することができていた。 ●予想される反論と、それに対する自分の考えを書く設問では、課題が見られる。	・段落構成については、構成メモなどを活用しながら考えるように指導する。 ・文章を書く時の段落の整え方を繰り返し指導する。感謝状、手紙を書く活動などとも関連させながら、段落を意識した文章を書く力を身に付けさせていく。
読むこと	平均正答率は72.1%で、市を0.5ポイント上回った。 ○物語、説明文の内容を読み取る設問の基礎問題については、市の平均より高く、よく理解できている。	・説明的文章の読み取りでは、段落のまとまりを意識して文章を読み取る活動や、中心となる語句に着目して要旨を読み取る活動を引き続き行っていく。 ・音読については読みの基礎となるので、家庭との連携を充実させ、一人一人の力を一層高められるようにしていく。

宇都宮市立細谷小学校 第6学年【社会】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	国土の自然環境などの様子	74.9	70.3	66.4
	農業や水産業	80.5	81.6	75.3
	工業生産	88.6	87.0	77.7
	産業と情報との関わり	90.7	91.0	81.3
	日本の政治	69.3	73.2	75.3
	日本の歴史	73.2	67.4	68.5
観点別	知識・技能	77.1	73.5	72.5
	思考・判断・表現	77.0	77.3	71.5

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

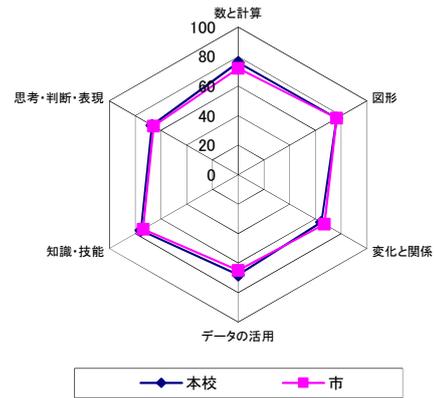
領域	本年度の状況	今後の指導の重点
国土の自然環境などの様子	平均正答率は74.9%で、市を4.6ポイント上回った。 ○全ての設問で市の平均正答率を上回り、世界の国土や自然災害の発生場所、人工林の役割についてよく理解している。	・国土や自然環境への理解が深まり、実感を伴う学習が積み重なっている成果であると考えられる。今後も教科横断的な学習を継続し、国土の特性や自然環境、人々の暮らしとのつながりを考える力を育成し、さらに理解を深めていきたい。
農業や水産業	平均正答率は80.5%で、市を1.1ポイント下回った。 ○水産業については、よく理解している。 ●米作りが盛んな地域や米の品種改良等について、正しく地図や資料から読み取ることに課題が見られる。	・知識を身に付けるだけでなく、地図や資料を正しく読み取る思考力を高めるために、学校で取り組んでいる食育と関連させたり、学習したことをまとめ、紹介し合ったりする活動を授業に取り入れていく。
工業生産	平均正答率は88.6%で、市を1.6ポイント上回った。 ○自動車の製造工程についての理解は、市の平均正答率と同等であった。また、安全性の高い自動車づくりや日本の貿易の変化については、資料をもとによく考え、表現できていた。	・資料から読み取ったことを自分の言葉でまとめる活動を行ってきた成果が表れてきていると考えられる。今後も、資料から読み取ったことを自分の言葉でまとめる活動を授業の中で多く設定し、思考力を育てていく。
産業と情報との関わり	平均正答率は90.7%で、市を0.3ポイント下回った。 ○情報を生かした産業については、よく理解している。 ●情報の発信と受信の注意点についての理解に課題が見られる。	・社会科にとどまらず、各教科と関連付けながら、教科横断的に情報モラルやデジタル・シティズンシップの考え方を育成し、情報との正しい関わり方を考えさせていく。
日本の政治	平均正答率は69.3%で、市を3.9ポイント下回った。 ○日本国憲法やその三原則については、よく理解している。 ●租税の役割についての理解や法律ができるまでの流れの資料の読み取りに課題が見られる。	・ニュース番組を見たり、新聞を読んだりする習慣をつけて、政治に関する興味・関心を高められるようしたい。また、授業では言葉の意味を丁寧に説明したり、図や表にまとめて視覚的に整理したりし、政治に関する重要語句の理解を深めていく。
日本の歴史	平均正答率は73.2%で、市を5.8ポイント上回った。 ○全ての設問で市の平均正答率を上回り、各時代の歴史上の人物や出来事についてよく理解している。	・調べ学習や小テスト等により、知識を確実に定着させてきたことの成果だと考えられる。今後も調べ学習や小テスト等を効果的に取り入れ、主体的な学びと反復による知識の定着を図る。

宇都宮市立細谷小学校 第6学年【算数】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	数と計算	76.0	72.1	74.6
	図形	76.5	76.5	76.1
	変化と関係	64.6	67.1	59.7
	データの活用	68.0	65.0	64.5
観点別	知識・技能	75.5	73.8	74.7
	思考・判断・表現	66.8	65.8	61.9

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

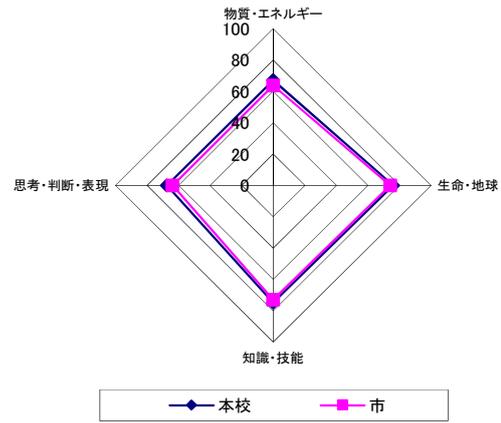
○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
数と計算	<p>平均正答率は、76.0%で、市よりも3.9ポイント高い。</p> <p>○小数÷小数を計算する設問では、本校の正答率は80.0%で、市の平均を9.8ポイント上回った。また、図を使って、小数の乗法の問題に合った式を作る設問では、本校の正答率が87.1%で、市の正答率よりも13.7ポイント高かった。</p> <p>●2つの文字を使って表された式で、一方の文字の値から他方の文字の値を求める設問では、本校の正答率が64.3%で、市の平均を5.9ポイント下回った。文字の式を作ることに課題が見られる。</p>	<p>・基礎となる計算力が身に付いてきている。引き続き、分数の四則計算についての復習を繰り返して行い、計算の仕方が定着するよう指導する。</p> <p>・本校独自の計算オリンピックを年に2回実施し、結果を効果的に活用し、四則計算の演習を繰り返したり、既習事項の復習などを行ったりすることで、基礎、基本となる計算力の定着を図る。</p> <p>・文字の式においては、数字を文字に置き換えた時に、難しさを感じる児童が多い傾向が見られる。既習の学習を用い、○や△を使った式や計算を、丁寧に説明・確認しながら、やさしい問題から取り組むようにさせたい。</p>
図形	<p>平均正答率は、76.5%で、市と同じである。</p> <p>○半径が与えられた円の面積を求める式を選ぶ設問では、本校の正答率は90.0%で、市の平均を6ポイント上回った。</p> <p>●三角形の3つの角の和を理解し、2つの角の大きさから1つの外角の大きさを求める設問では、本校の正答率は60.0%で、市の平均を6.6ポイント下回った。また、3辺の長さを使って、合同な三角形を作図する設問では、本校の正答率は87.1%で、市の平均を3.9ポイント下回った。図形の特徴などについての知識・技能や表現に課題が見られる。</p>	<p>・多角形の内角の和の求め方や展開図の見取り方、合同な図形の作図、対称な図形の特徴などについて、既習事項の復習を継続して行うようにする。</p> <p>・問題解決型学習を取り入れるとともに、ワークシートや一人一台端末のドリルなどを活用し、練習問題を解く時間を増やし、定着することができるように工夫して指導する。</p>
変化と関係	<p>平均正答率は、64.4%で、市よりも2.7ポイント低い。</p> <p>○単位量あたりの大きさを求めて、どちらのセットの方が1冊あたりの値段が安い説明する設問では、本校の正答率は70.0%と、市の平均を6ポイント上回った。</p> <p>●表から車両数と人数の割合を求め、どの路線が最も混んでいるか考察する設問では、本校の正答率は55.7%と、市の平均を13.7ポイント下回った。</p>	<p>・割合や単位量あたりの大きさ、速さの学習に対して、苦手意識をもつ児童が多いため、ワークシートや一人一台端末を用いて、復習の機会を多くもつようにする。</p> <p>・伴って変化する数値から見出した特徴を基に、変化と対応の規則性について考察したり、基準量や比較量を明確にしたりするなど、問題の解き方を確認する。</p>
データの活用	<p>平均正答率は、68.0%で、市よりも3ポイント高い。</p> <p>○ドットプロットから、最頻値を読み取る設問では、本校の正答率は85.7%と、市の平均を9.7ポイント上回った。</p> <p>●値に0がある分離量の平均を求める設問では、本校の正答率は65.7%と、市の平均を5.3ポイント下回った。平均を正しく求める方法に課題が見られた。</p>	<p>・6年間で学習した様々なグラフの特徴を整理し、目的に合わせてグラフを選び、表したり読み取ったりする活動を取り入れるようにして、グラフを適切に活用できるよう、工夫して指導していくようにする。</p> <p>・柱状グラフやドットプロット、度数分布表から、中央値や最頻値を読み取る学習では、身近なところからも考えられるような活動を取り入れるなどして、資料についての理解が深まったり、正しく読み取ったりできる力を身に付けることができるようにする。</p>

宇都宮市立細谷小学校 第6学年【理科】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	物質・エネルギー	67.1	63.8	61.6
	生命・地球	76.0	74.1	73.3
観点別	知識・技能	74.8	73.0	71.3
	思考・判断・表現	67.4	63.8	62.5



※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。

★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
物質・エネルギー	<p>平均正答率は、67.1%で、市よりも3.3ポイント高い。</p> <p>○物質・エネルギーの平均正答率は67.1%で、市を8.3ポイント上回った。</p> <p>○コイルの巻き数による電流のはたらきに関する正答率は市を12.8ポイント上回った。水よう液の性質では、どの設問も15～26ポイント、市を上回った。</p> <p>●ふりこのきまりでは、周期の測定方法の正答率が市を13.1ポイント下回った。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・観察や実験の意味や方法についての的確に理解できるよう授業の構成や資料の工夫を行う。実験の結果については、「なぜそうなるのか」をグループでの話し合いなどを通して考察させる。 ・実験に関してはどのような手段を用いるかを考えさせ、結果に対して、必ず振り返りを行うように努める。 ・実験を行う上でどんな条件をそろえるのか、異なる条件は何かを明確にし、今行っている実験は何を求めるための実験かをはっきりと認識させる。
生命・地球	<p>平均正答率は、76.0%で、市よりも1.9ポイント高い。</p> <p>○生物・地球の平均正答率は75.4%で、市を1.9ポイント上回った。</p> <p>○水よう液の性質ではどの項目も市の正答率を11.4～21.8ポイント上回った。水溶液に溶けているものや液性、見分け方など、実験の意味や見分け方をしっかりと捉えることができた。</p> <p>●ふりこの周期の測定方法は48.6%と、市よりも13.1ポイント低く、測定方法の理解が不十分であった。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・観察や実験だけでなく、日常から周囲の自然現象や事象に関し「なぜ」という問いをもてるようにする。 ・授業の中で問題解決の手掛かりとなる観察の仕方やデータの取り方をしっかりと身に付けさせ、そこから結論を考察させる力を身に付けさせる。 ・比較実験では、そろえるのに必要な条件と、不必要な条件を確認して実験し、比較できるよう、繰り返し指導する。

宇都宮市立細谷小学校 学力向上に向けた学校全体での取組

★学校全体で、重点を置いて取り組んでいること

重点的な取組	取組の具体的な内容	取組に関わる調査結果
児童の基礎・基本の定着を図り、できた喜びが学ぶ意欲へとつながる指導の工夫。	<ul style="list-style-type: none"> 授業における児童のよさを認め励ます支援を充実させる。 学ぶ意欲を喚起する指導の充実を図る。 ねらい、まとめの明示など、分かりやすい板書の工夫を行う。 朝の学習の充実を図る。(漢字・計算・読書) 学習したことを復習する家庭学習の仕方などを提示する。 ICTの積極活用による学びの深化を図る。 漢字・計算オリンピックなど、目的をもって努力する機会を作り、達成感が次の学習への意欲につながるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 「勉強が好きですか。」という質問に対して、本校の肯定割合は、1年生が81.4%、2年生が71.3%、3年生が89.0%、4年生が51.7%、5年生が59.5%、6年生が50.0%であり、3年生は市の平均より11.3ポイント高く、1、2、4、5、6年生は約2ポイントから18ポイント低かった。 国語の基礎問題(知識・技能)の正答率は、70.6%、社会の基礎問題(知識・技能)の正答率は、77.1%、算数の基礎問題(知識・技能)の正答率は、75.5%、理科の基礎問題(知識・技能)の正答率は、74.8%だった。社会、算数、理科は市の平均より約1～4ポイント高かった。国語は市の平均よりわずかに低かった。引き続き6年生までの積み上げを意識して、指導・支援を続けていきたい。
互いに認め、励まし合い、学び合う学習の場の設定と学習形態の工夫。	<ul style="list-style-type: none"> 自己有用感に着目した授業づくりの研究を進め、積極的に授業を公開する。 「学習の約束」を定着させ、教師や友達の話をよく聞き、落ち着いて学習する環境を整える。 ペアやグループ学習で学び合いの場を確保するなど、主体的・対話的な学びを獲得できるようにする。 目的を明確にした学び合いのコーディネートを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 「グループでの話合いに自分から進んで参加していますか。」という質問に対して、本校の肯定割合は、1年生が88.4%、2年生が77.5%、3年生が87.7%、4年生が76.4%、5年生が73.4%、6年生が75.0%だった。1、3年生は市の平均より約3ポイントから9ポイント高く、2、4、5、6年生は約2～5ポイント低かった。 「先生や友達の話最後まできちんと聞いている。」という質問に対して、本校の肯定割合は、1年生が93.0%、2年生が90.0%、3年生が97.3%、4年生が95.5%、5年生が94.9%、6年生が95.8%だった。1、3、4、5、6年生は市の平均より高かったが、2年生は僅かではあるが下回った。

★国・県・市の結果を踏まえての次年度の方向性

・本校では、主体的・対話的で深い学びの実現のために、「自己有用感を高める授業づくり」に取り組んできた。学習指導や家庭学習の仕方の提示などとともに、対話活動を取り入れた授業づくりを研究したことで学習に進んで取り組む姿が見られるようになってきた。次年度はさらに、学習課題の難易度の吟味や提示の仕方の工夫など、児童が自分の課題を見つけ、より主体的に解決できる授業づくりに向けて、研究を進めていきたい。

・授業において自分の考えを話す機会を意図的に設けたり、自分や他者の考えに理由を加えて話し合ったりする活動を多く取り入れることにより、表現力の育成を図る。

・テーマを決めて自分の考えを話したり、友達の考えを聞き取ったりする機会を増やしたりしながら、要点を正確に話したり、聞いたりできるように繰り返し指導していく。